

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	林 宏	所属	芸術文化学部美術学科
学位	東京芸術大学 修士	職位	准教授
専門分野	クラフトデザイン、漆芸、塗装、木工		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	デザイン論、構成実習、デッサン基礎実習、総合基礎実習、デザイン実習1、デザイン実習2 デザイン実習3、古美術研究演習、卒業制作、木工演習、塗装法演習
大学院	デザイン学特講、デザイン総合演習、デザイン研究1、デザイン研究2
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
(1) クラフトデザイン、造形に使われる自然素材の調査、研究	
(2) 食の器（漆芸）を通して、暮らしのあり方、食の調査、研究	
(3) 全国の自然素材を使った民芸、道具などの調査、研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R6	〈展覧会〉 乾漆の造形 皮膚と身体 漆芸と彫刻のインターセクション
R5	〈展覧会〉 教員展 尾道大学美術館 〈展覧会〉 手から生まれる暮らしのカタチ ONOMICHI U2
R4	〈展覧会〉 日本のいろ展 鎌倉 鎌倉彫会館 〈展覧会〉 手から生まれる暮らしのカタチ ONOMICHI U2
R3以前の主な研究業績	
(1)	〈展覧会〉 東京芸術大学創立125周年記念事業「漆芸 軌跡と未来」招待出品 (東京芸術大学) 2012年
(2)	〈展覧会〉 ナチュラルマテリアルプロジェクト(六本木ル・ベイン) 2012年
(3)	〈展覧会〉 器奏天回茶展 (うおがし銘茶 築地新店) 2012年
(4)	〈展覧会〉 日本のいろ展2012 (松岡山東慶寺 白蓮舎) 2012年
(5)	〈展覧会〉 個展 林宏 漆の器展 (栃木 アルゴノート) 2013年
(6)	〈展覧会〉 japanin vari [Natural material projects] (フィンランド ヘルシンキ) 2013年
(7)	〈展覧会〉 吉木呂の会展 (新宿 伊勢丹) 2014年
(8)	〈展覧会〉 漆芸二人展 (瑞玉ギャラリー 東京) 2014年
(9)	〈展覧会〉 草木と漆の器展 (代官山 無垢里) 2015年
(10)	〈展覧会〉 日本のいろ展 (松岡山東慶寺ギャラリー) 2015年
(11)	〈展覧会〉 草木と漆の器展 (代官山 無垢里) 2016年
(12)	〈展覧会〉 吉木呂の会展 (松岡山東慶寺ギャラリー) 2017年
(13)	〈展覧会〉 陶と漆の器展 (代官山無垢里) 2018年
(14)	〈展覧会〉 感覚のかたち展 (MOU尾道市立大学美術館) 2019年
(15)	〈展覧会〉 陶と漆の器展 (日本橋三越) 2019年
(16)	〈展覧会〉 日本のいろ展 (鎌倉 鎌倉彫会館) 2022年
(17)	〈展覧会〉 LIFE(手から生まれる暮らしのカタチ) 2023年 2024年
(18)	〈作品収蔵〉 フィラデルフィア美術館
(19)	〈作品収蔵〉 東京芸術大学

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	林 宏	所属	芸術文化学部美術学科
学位	東京芸術大学 修士	職位	准教授
専門分野	クラフトデザイン、漆芸、塗装、木工		

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R4・R5・R6			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
おのみちの森づくり検討会 令和3年より			
日本文化財漆協会 常任理事 任期なし			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
（1）広島高校美術展審査、講評			
（2）御調公民館プロポーザル審査 副委員長			
（3）文化財漆協会 植栽調査 岩手、茨城 会報への執筆			
出前授業	1 回		
その他（審査員）	2 回		
（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入）			
日本文化財漆協会の活動より、高松漆芸研究所にて手作業による漆精製の講義を行った。従来行われてきた方法を見直し、新しい精製方法では時間を短縮し、作業効率も良く、漆に負担をかけない方法として紹介した。継続して次年度は東京藝術大学にて講義を行う予定。（出前授業）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道森づくり検討委員会		1回
	御調公民館プロポーザル審査員		2回